

おいしいコーヒーの入れ方教室 ～21世紀コーヒー(株)～

7月9日 渋谷北ブロック委員会

コーヒーの品質を高めるため国を限定して大量買い付けをするなど、独自の工夫を行う21世紀コーヒー(株)によるオンライン学習会。児玉研代表取締役が「コーヒーは、赤道付近の標高の高い涼しい場所で栽培される。世界共通の格付けはなく、国ごとに違う」といった豆知識や、ペーパードリッパーでのおいしい入れ方について伝授。沸騰後2～3分置いた93度ぐらいのお湯で15～30秒、コーヒーの真ん中に「の」の字を描きながら入れるのがコツと聞き、各自で事前に送られた「いつもの珈琲」を入れました。最後に参加者だけで行ったブレイクアウトルームでは「お湯の温度でこんなに味が違うとは!」「講師の手元が見えて良かった」などの感想が聞かれました。



最後の数滴は苦味となるので、サーバーからドリッパーを外します。

生協の原点を学ぶ 「賀川豊彦記念松沢資料館」を訪ねて

6月30日 第5地域委員会

「生協の父」と呼ばれる賀川豊彦。その功績を伝える「松沢資料館」を訪ね、協同組合の成り立ちや彼の思想を学びました。100年も前から持続可能な社会を提唱・実践、「子どもは未来をつくる」と教育を重んじ、弱者救済と平和な



保存された美しい木造チャペル



礼拝堂での講義

社会の実現に力を尽くした賀川。同志として共に歩み、女性運動の先駆者でもあった妻ハル。夫妻の足跡を、資料館の刈谷雅夫事務長から伺う貴重な機会を得ました。古い時計やステンドグラスのある礼拝堂での講義、静かな心地良い空間で過ごした有意義な時間でした。



解説を受けながら展示に見入りました

賀川豊彦記念松沢資料館 <https://t-kagawa.or.jp>

大阪発! アイデア家庭用品 オンライン学習会

6月17日 第4地域委員会

風呂敷より着物を包みやすい「和装バッグ」開発を機にアイデア商品を作る一方で、メーカー品も取り扱うトップ産業(株)。同社の佐藤淳樹さんが、一般商品から生協仕様の商品まで、生活に役立つ7品を紹介。「実際に試してみた!」動画など画面上でも分かりやすく、特徴やメーカーのこだわりもよく伝わりました。

参加者からは、「フッ素加工とテフロン加工の違いは?」「規制の始まるPFOAやPFOSは不使用?」「ステンレス包丁は砥石とシャープナーどちらで研ぐのが良い?」など、紹介商品への質問もたくさん。同社が作る別配付チラシ「愛着良品」ページ、どんなこだわり商品なのか想像しながら読みたいと思います。



理事会報告
(抜粋)

〔2022年度第14回定例理事会 2022年5月12日開催〕

〔審議事項〕●第48回通常総代会議案書確認の件(その2)

●(仮称)都内災害ボランティア新団体(一般社団法人)加入の件

●随員支援「もーほき」の千葉県産産物の寄付金支出の件

〔報告事項〕●第48回通常総代会議案書より「発行の件」ほか

〔2022年度第15回定例理事会 2022年5月24日開催〕

〔審議事項〕●2022年度決算関係書類等の確定に関する件

●Web限定ポイント制度規程の一部改正の件

〔報告事項〕●2022年度利用分量割戻の実施要領に関する件ほか

〔2021年度第16回定例理事会 2022年6月9日開催〕

〔報告事項〕●組合員活動委員会報告

●商品活動関連報告

〔2022年度第1回定例理事会 2022年6月16日開催〕

〔報告事項〕●2022年度理事会設置委員会委員および

関係団体等への派遣委員確認の件ほか

〔2022年度第2回定例理事会 2022年6月23日開催〕

〔審議事項〕●2022年度第48回通常総代会のまも確認の件(その1)

●2022年度総代定数確認の件

〔報告事項〕●男女平等参画推進評価委員会からの評価報告に関する件ほか

今後の理事会日程(予定) 9月16日(木)、10月20日(木)

6月のわたしたち		
2022年6月20日現在 ※[]内は前年比		
組合員数	256,963人	[99.5%]
加入	2,031人	[92.7%]
脱退	2,248人	[82.5%]
総事業高	8,813,454千円	[95.1%]
共同購入事業	8,462,022千円	
弁当配食事業	92,294千円	
生活文化事業	50,772千円	
生活支援事業	16,839千円	
その他事業	191,526千円	
★出資金	6,602,280千円	[101.1%]
★1人あたりの出資金	25,694円	[101.9%]
★1人あたりの利用高	6,110円	[98.6%]

監事会だより

現在、監事会は、第2回定例監事会で決定した「監査方針及び監査実施計画」に沿って粛々と監査活動を進めています。その中で監事会が2022年度重点的に監視・検証する事項は、(1)経営構造改革の進捗状況 (2)各事業所におけるコンプライアンスの状態 (3)各配送センターにおけるマネジメントの状態および業務品質向上課題の進捗状況 (4)安全運転に係る取り組みの進捗状況 (5)資産・什器・備品の管理状況です。また、監事会の監査は、主に理事会など重要会議への出席、常勤理事などからのヒアリング、決算関係書類などの内容に関する検証、各事業所などの実地調査で構成されています。なお、2022年度は、組織運営部、生活文化事業部、練馬センター、杉並センターおよび横浜センターを実地調査対象部署としました。その他各監事が独立して実施する監査や調査が加わり、そして、公認会計士および業務内部監査担当との三様監査連携を図りながら、2022年度末の監査報告を目指しています。

中間報告 ウクライナ募金贈呈式(第1次)を行いました

東都生協は、命と生活が差し迫った脅威にさらされ続けているウクライナの方々へ一刻も早い人道支援が必要と考え、3月28日から緊急募金に取り組んでいます。募金の受付期間を10月1回(9月30日注文分)まで延長します。引き続きご協力をお願いします。



6月16日の第48回通常総代会閉会後、特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会へウクライナ緊急募金の目録(組合員の皆さまから6月6日までに預かりした募金1,600万円の目録)を贈呈(第1次)。引き続き募金に取り組む旨を伝えました。

国連WFP協会からは現在ウクライナで募金が食料や食料引換券に活用されていると説明があり、東都生協は募金への感謝状をいただきました。



募金総額は組合員活動情報紙「ウォ」などでお知らせする予定です。募金へのご協力ありがとうございました。

Pick up! のぞいてみよう蛇口の向こう側～多摩の水道水と地下水を知ろう～

6月25日 第7・8・9地域委員会合同企画 オンライン+八王子クリエイティブホール会場

昨年、「府中市の浄水所にて、残留性の高さや健康への影響が指摘される有機フッ素化合物が水道水から検出された」と新聞報道があり、「水の安全性」がメンバーで話題に。今飲んでる水道水はどこから? 「蛇口の向こう側」について私たちは知らないことが多いのでは? と、今回の企画となりました。水ジャーナリスト・橋本淳司氏を講師に、安全な水の必要性や正しい情報と知識、多摩地域の水道水、地下水について学習しました。まず、どこから来た水を飲んでいるのかを地図上で確認。地下水は、土地利用や地下構造物など、ヒト社会の活動の影響を受けていることも再確認しました。有機フッ素化合物の地下水混入問題については、「現在は禁止されているが、過去使用していたものが地中に入り、その汚染の蓄積が今になって出てきていると考えられる。20年前の農薬が出てきたところもある。地下水は継続的なモニタリングが必要」とのことでした。今後の大雨による浸水や洪水などへの心構えとしては、「自分がどの川の恵みで生活しているか、『流域』を意識する。治水だけでなく利水、くらしをコンパクトで持続可能なものにするための水マネジメントが大事」とのこと。また、「田んぼは、米の生産だけでなく、地下水を育み洪水を緩和し、生き物を育む場所」とのお話も聞きました。参加者からは、「今何ができるか、緊急を要する。公にして大きな議論を呼ぶべき」「減反が将来の水不足につながる」と知り、水田は水がめといわれることを改めて実感。今後、自治体でも総合的な水対策をする必要があるなど熱い感想も：学びの多い学習会になりました。



講師の橋本氏はオンラインで講演